

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本高周波鋼業株式会社
 コード番号 5476 URL <http://www.koshuha.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 池田 辰雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 田中 慶壽
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

TEL 03-5687-6025

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	40,548	—	769	—	694	—	440	—
20年3月期第3四半期	40,568	18.2	2,784	128.1	2,651	131.3	2,091	113.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	3.00	—
20年3月期第3四半期	14.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	48,160	—	21,731	45.1	—	—	148.12	—
20年3月期	49,621	—	21,954	44.2	—	—	149.62	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 21,731百万円 20年3月期 21,954百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	3.50	3.50
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	3.50	3.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,500	9.5	1,650	△38.6	1,500	△40.1	900	△51.6	6.13

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	146,876,174株	20年3月期	146,876,174株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	162,523株	20年3月期	143,404株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	146,724,327株	20年3月期第3四半期	146,744,713株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想につきましては、当社が現状で判断しうる一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おきください。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準 第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針 第14号)を適用しております。また「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、4-6月期の実質GDP成長率が前期比年率 $\Delta 1.0\%$ 、7-9月期が同じく $\Delta 0.5\%$ と2四半期連続のマイナス成長となり、10-12月期についてもマイナス成長が見込まれ、世界同時不況のなか、景気の急激な落ち込みに見舞われました。

鉄鋼業界においても主要需要産業である自動車などの減産により、4-12月期の粗鋼生産量は前年同期比 $\Delta 3.0\%$ の8,790万トンとなり、とりわけ10-12月期は3ヶ月連続で減少し、前年同期比 $\Delta 14.5\%$ の2,639万トンとなりました。2008年(暦年)の年間粗鋼生産量は1億1,874万トンと3年振りの減少に転じております。特殊鋼業界においても特殊鋼熱間圧延鋼材の生産量は10-12月期に前年同期比 $\Delta 12.1\%$ の480万トンとなりました。

このような環境下で、数量減や、主原料である鉄スクラップ価格が夏場以降急落したものの、一部の合金鉄も含めて4-12月期の原料・燃料価格が前年同期に比べ依然高水準にあり、見合う製品価格の改善が達成できていないことなどによって大幅な減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、販売価格の改善による増収があったものの数量減などによりほぼ前年同期並みの40,548百万円となりました。経常利益は1,957百万円(73.8%)減少し694百万円となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

[特殊鋼]

工具鋼の需要が減少に転じるとともに、ニッケル価格の下落により関連製品の価格低下、買い控えによる数量減が続いております。期中前半の鉄スクラップの高騰などに対応して販売価格の改善に努めましたが、数量減などにより、売上高はほぼ前年同期並みの32,681百万円(前年同期比0.3%減)となりました。営業利益については、数量減に加えて、原料・燃料の高騰に対応した販売価格の改善を原料・燃料コストの増大が大きく上回ったことなどにより、2,075百万円減少して440百万円(同82.5%減)となりました。

[鑄鉄]

主力の自動車および建設機械関連製品の需要が弱含んだものの、販売価格の改善を進め、売上高は前年同期に比べ134百万円増加し、5,895百万円(前年同期比2.3%増)となりました。営業利益については、原料コストが増大しましたが、販売価格の改善や退職給付関連費用の追加認識がなくなったことなどにより53百万円増加し、273百万円(同24.0%増)となりました。

[金型・工具]

売上高は主力の金型製品が拡大しましたが、切削工具などの減少により、前年同期に比べ50百万円減少し1,972百万円(前年同期比2.5%減)となりました。営業利益は工場土地・建物を自社保有に切り替えた賃借料削減効果があったものの、増益額が7百万円にとどまり55百万円(同13.7%増)となりました。

※前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は受取手形及び売掛金の減少2,253百万円、たな卸資産の増加2,011百万円、有形固定資産の減少537百万円、投資有価証券の期末時価評価に伴う減少248百万円等により48,160百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,460百万円減少しました。

負債合計は支払手形及び買掛金の増加733百万円、未払法人税等の減少592百万円、賞与引当金の減少473百万円、退職給付引当金の減少424百万円等により26,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,237百万円減少しました。

純資産合計は第1四半期における配当金の支払513百万円、その他有価証券評価差額金の減少147百万円等により21,731百万円となり、前連結会計年度末に比べ223百万円減少しました。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の44.2%から45.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ634百万円減少し、537百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益673百万円、減価償却費1,430百万円、売上債権の減少2,253百万円、仕入債務の増加717百万円等により増加した一方、退職給付及び役員退職慰労引当金の減少565百万円、たな卸資産の増加2,011百万円、法人税等の支払947百万円等により減少した結果、1,095百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

主に有形固定資産の取得1,028百万円等により、941百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払513百万円、借入金の返済193百万円等により、788百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては下方修正を予定しておりますが、足元の経営環境の急激な変化に対応した一時帰休も含めた生産調整などの施策を現在検討中であります。その内容がまとも次第、2月上旬にお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

(棚卸資産の評価方法)

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し当第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	170	281
受取手形及び売掛金	8,918	11,171
製品	3,718	3,035
仕掛品	6,741	5,858
原材料及び貯蔵品	5,181	4,735
その他	1,288	1,721
貸倒引当金	△8	△15
流動資産合計	26,010	26,788
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具（純額）	7,544	7,982
土地	8,507	8,497
その他（純額）	4,382	4,491
有形固定資産合計	20,433	20,970
無形固定資産	117	104
投資その他の資産		
投資有価証券	864	1,112
その他	767	715
貸倒引当金	△31	△71
投資その他の資産合計	1,599	1,756
固定資産合計	22,150	22,832
資産合計	48,160	49,621

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,088	10,355
短期借入金	4,936	4,996
未払法人税等	222	814
賞与引当金	139	613
その他	2,840	3,143
流動負債合計	19,227	19,922
固定負債		
長期借入金	25	61
再評価に係る繰延税金負債	2,370	2,370
退職給付引当金	4,262	4,687
その他の引当金	42	183
その他	500	442
固定負債合計	7,201	7,744
負債合計	26,429	27,666
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,728	1,728
利益剰余金	3,541	3,614
自己株式	△24	△22
株主資本合計	20,914	20,990
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	82	230
土地再評価差額金	734	734
評価・換算差額等合計	816	964
純資産合計	21,731	21,954
負債純資産合計	48,160	49,621

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年12月31日)

売上高	40,548
売上原価	36,354
売上総利益	4,193
販売費及び一般管理費	3,424
営業利益	769
営業外収益	
受取配当金	33
受取賃貸料	27
その他	143
営業外収益合計	204
営業外費用	
支払利息	78
売上債権売却損	55
出向者人件費負担金	62
その他	81
営業外費用合計	279
経常利益	694
特別利益	
貸倒引当金戻入額	41
特別利益合計	41
特別損失	
固定資産処分損	59
投資有価証券評価損	2
特別損失合計	62
税金等調整前四半期純利益	673
法人税等	232
四半期純利益	440

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	673
減価償却費	1,430
退職給付及び役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△565
売上債権の増減額 (△は増加)	2,253
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,011
仕入債務の増減額 (△は減少)	717
その他の資産・負債の増減額	△455
小計	2,042
法人税等の支払額	△947
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,095
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,028
利息及び配当金の受取額	41
その他	46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△941
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の返済による支出	△60
長期借入金の返済による支出	△133
自己株式の取得による支出	△2
配当金の支払額	△513
利息の支払額	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	△788
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△634
現金及び現金同等物の期首残高	1,171
現金及び現金同等物の四半期末残高	537

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	特殊鋼 (百万円)	鋳鉄 (百万円)	金型・工具 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社(百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	32,681	5,895	1,972	40,548	—	40,548
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	218	25	20	264	(264)	—
計	32,899	5,920	1,992	40,812	(264)	40,548
営業利益	440	273	55	769	(—)	769

(注) 1 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2 各事業の主な製品

- (1) 特殊鋼……………鍛鋼品（ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材）
特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品（軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金）
その他（加工品、ビレット、その他）
- (2) 鋳鉄……………自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品（ダクタイル鋳物、普通鋳物）
- (3) 金型・工具…………各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、精密バイト、一般切削工具

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	4,186	77	4,263
II 連結売上高（百万円）			40,548
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	10.3	0.2	10.5

（注）1 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) アジア …………… タイ、台湾、韓国、中国 他

(2) その他の地域 …… アメリカ合衆国 他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

[参考資料]

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 第 3 四 半 期 連 結 累 計 期 間 (19. 4. 1~19. 12. 31)
1. 売 上 高	40,568
2. 売 上 原 価	34,510
売 上 総 利 益	6,057
3. 販売費及び一般管理費	3,273
営 業 利 益	2,784
4. 営 業 外 収 益	172
受 取 利 息 及 び 配 当 金	36
賃 貸 料	26
そ の 他	109
5. 営 業 外 費 用	305
支 払 利 息	64
出 向 者 人 件 費 負 担 金	63
そ の 他	178
経 常 利 益	2,651
6. 特 別 利 益	40
貸 倒 引 当 金 取 崩 益	40
7. 特 別 損 失	150
固 定 資 産 処 分 損	135
投 資 有 価 証 券 評 価 損	14
税金等調整前四半期純利益	2,541
法人税、住民税及び事業税	449
四 半 期 純 利 益	2,091

(2) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	特殊鋼	鋳鉄	金型・工具	計	消去 又は全社	連結
1. 売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	32,784	5,761	2,022	40,568	—	40,568
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	204	17	18	241	(241)	—
計	32,988	5,779	2,041	40,809	(241)	40,568
営業費用	30,473	5,559	1,992	38,025	(241)	37,784
営業利益	2,515	220	48	2,784	—	2,784

(注) 1. 事業区分は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各事業の主な製品

- (1) 特殊鋼 …… 鍛鋼品（ダイス鋼、プラスチック金型用鋼、その他精密鍛造材）
特殊鋼圧延鋼材・同二次加工品（軸受鋼、特殊ステンレス鋼、特殊合金）
その他（加工品、ビレット、その他）
- (2) 鋳鉄 …… 自動車部品、建設機械部品、合金鉄製造用の鋳型等各種鋳物製品
（ダクタイル鋳物、普通鋳物）
- (3) 金型・工具 …… 各種金型及び金型部品、各種特殊工具、完成バイト、付刃バイト、精密バイト、一般切削工具

〈参考資料〉

平成21年3月期 第3四半期決算発表

日本高周波鋼業株式会社

連結

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:百万円、%)

摘要	当期 (20年度3Q)	(対前年同期)		前年同期 (19年度3Q)	通期予想 21年3月期	(対前年同期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	40,548	△ 20	△0.0%	40,568	58,500	5,076	9.5%
営業利益	769	△ 2,015	△72.4%	2,784	1,650	△ 1,038	△38.6%
経常利益	694	△ 1,957	△73.8%	2,651	1,500	△ 1,004	△40.1%
四半期純利益	440	△ 1,651	△79.0%	2,091	900	△ 960	△51.6%
売上高経常利益率	1.7%	—	—	6.5%	2.6%	—	—
1株当たり四半期純利益	3円00銭	—	—	14円25銭	6円13銭	—	—
設備投資	985	△ 429	△30.3%	1,414	1,400	△ 1,611	△53.5%
減価償却費	1,430	△ 18	△1.2%	1,448	1,920	△ 35	△1.8%

2. セグメント別売上高・営業利益(累計)

(単位:百万円)

摘要	当期(20年度3Q)		前年同期(19年度3Q)		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
特殊鋼	32,681	440	32,784	2,515	△ 103	△ 2,075
鋳鉄	5,895	273	5,761	220	134	53
金型工具	1,972	55	2,022	48	△ 50	7
合計	40,548	769	40,568	2,784	△ 20	△ 2,015

3. 経常利益増減益要因(前年同期比) 26億円 → 7億円 (19億円の減益)

(単位:億円)

増 益 要 因	金額	減 益 要 因	金額
1. 販売価格改善	12	1. 原料・燃料コストの増大	20
		2. 数量減少・構成悪化	5
		3. 固定費の増加	2
		4. 為替影響	2
		5. その他	2
計 (A)	12	計 (B)	31
		差引 (A)-(B)	△ 19

個別

1. 当四半期の業績(累計)と通期予想

(単位:千トン、百万円、%)

摘要	当期 (20年度3Q)	(対前期)		前年同期 (19年度3Q)	通期予想 21年3月期	(対前期)	
		増減額	増減率			増減額	増減率
売上高	30,415	△ 220	△0.7%	30,635	44,000	3,874	9.7%
営業利益	244	△ 1,979	△89.0%	2,223	450	△ 1,552	△77.5%
経常利益	339	△ 1,998	△85.5%	2,337	500	△ 1,611	△76.3%
四半期純利益	242	△ 1,523	△86.3%	1,765	350	△ 1,377	△79.7%
売上高経常利益率	1.1%	—	—	7.6%	1.1%	—	—
1株当たり四半期純利益	1円65銭	—	—	12円03銭	2円39銭	—	—

2. 部門別売上高(累計)

(単位:千トン、百万円)

摘要	当期(20年度3Q)		前年同期(19年度3Q)		増 減	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
工具鋼	44.3	12,303	45.4	12,100	△ 1.1	203
特殊合金	13.6	11,428	14.4	13,849	△ 0.8	△ 2,421
軸受鋼	36.9	6,684	34.9	4,686	2.0	1,998
合計	94.8	30,415	94.7	30,635	0.1	△ 220

以上